

ワンダフルライフ

変額個人年金保険Ⅱ型2003
＜15年運用コース＞

特別勘定の月次運用レポート 2024年3月末現在

- 市場概況
- 特別勘定の運用状況
- 組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険の投資リスクについて

- 本商品は、年金額や解約払戻金額等がファンド(特別勘定)の運用実績に基づき変動するしくみの変額個人年金保険です。
- ファンド(特別勘定)の主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、資産運用には、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあり、ご契約者はこれらの投資リスクを負うことになります。
- したがって、運用成果によっては、お受け取りになる年金や解約払戻金等の合計額が、一時払保険料の額を下回る場合があります、損失が生じるおそれがあります。

ご契約者が負担する費用等について

ご契約期間中には、以下の費用をご負担いただきます。

- 契約初期費用 : なし
- 保険契約関係費用 : 資産残高に対して年率2.37%(消費税対象外)
- 運用関係費用 : 信託財産に対して年率0.33%(税抜0.30%)程度
- 年金管理費 : 受取年金額の1.0%(消費税対象外)
- 解約時費用 : ご契約日(増額日)から7年未満の解約・一部解約では、解約控除対象額※の最大7%が解約控除額として差し引かれます。

●本商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用(「保険関係費用」「運用関係費用)」と「年金受取期間中の費用(「年金管理費)」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約時費用」がかかります。

※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

[引受保険会社] オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。

ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

(管)ORI-088

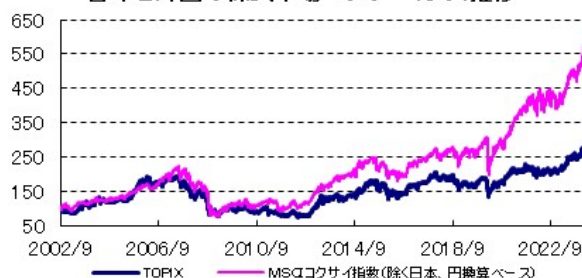
市場概況

代表的な指標の騰落率		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	3.07%	20.63%	26.72%	43.96%	38.35%
	TOPIX(東証株価指数)	3.47%	17.00%	19.16%	38.19%	41.69%
日本債券	NOMURA-BPI総合	▲ 0.11%	▲ 0.51%	0.37%	▲ 2.20%	▲ 4.98%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	4.00%	15.34%	22.00%	41.25%	69.73%
外国債券	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	1.20%	5.04%	8.29%	15.80%	17.31%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	0.49%	6.75%	1.22%	13.39%	36.76%

日経平均株価(円)の推移



日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

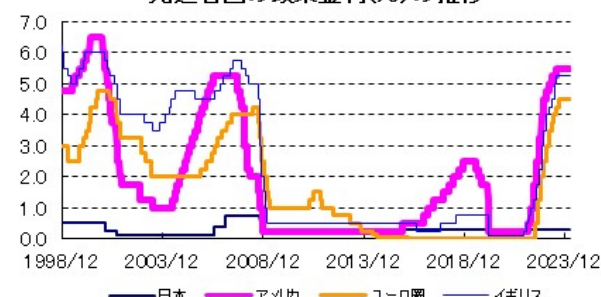


*上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



*上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

- 当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計 (百万円)
	株式		債券				投資信託	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
世界バランスファンド 50 DI	●	●	●	●	DIAMグローバル・ バランスファンド50VA *	アセットマネジメントOne株式会社	97.7%	2.3%	1,298

* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針										
DIAMグローバル・ バランスファンド50VA *	<p>国内債券、国内株式、外国債券、外国株式への分散投資を行い、リスクの低減に努めつつ中長期的に安定した収益の積み上げを目指します。基本資産割合(基本アロケーション)のもと、個別資産毎で各指数に連動するインデックス運用を行います。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国内債券</th> <th>国内株式</th> <th>外国債券</th> <th>外国株式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DIAMグローバル・ バランスファンド50VA</td> <td>10.00%</td> <td>25.00%</td> <td>40.00%</td> <td>25.00%</td> </tr> </tbody> </table>		国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	DIAMグローバル・ バランスファンド50VA	10.00%	25.00%	40.00%	25.00%
	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式							
DIAMグローバル・ バランスファンド50VA	10.00%	25.00%	40.00%	25.00%							

* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移



- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド50 DI

【特別勘定が投資する投資信託】

DIAMグローバル・バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に、国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

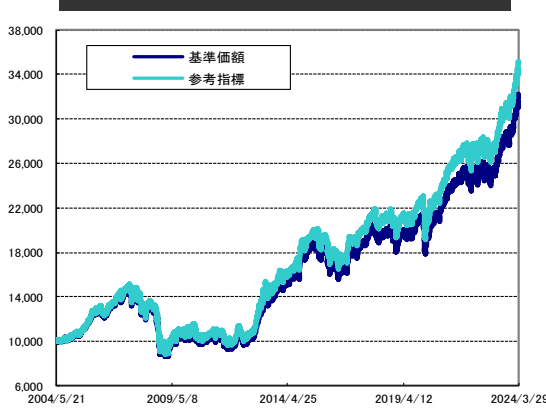
運用方針

国内債券、国内株式、外国債券、外国株式への分散投資を行い、リスクの低減に努めつつ中長期的に安定した収益の積み上げを目指します。基本資産割合(基本アロケーション)のもと、個別資産毎で各指数に連動するインデックス運用を行います。

2024年3月末までの運用経過

DIAMグローバル・バランスファンド50VA

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額・純資産総額

基準価額	32,161円
解約価額	32,161円
純資産総額	1,268百万円

分配金情報(税引前) ※分配金は1万円当たり

第17期(2021.06.22)	0円
第18期(2022.06.22)	0円
第19期(2023.06.22)	0円
設定来累計分配金	0円

※直近3年分

※分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	2.60%	9.92%	13.71%	25.72%	35.38%	62.89%	221.61%
参考指標	2.69%	10.07%	14.07%	26.36%	37.23%	66.49%	251.42%
差	-0.09%	-0.15%	-0.35%	-0.64%	-1.85%	-3.50%	-29.81%

ポートフォリオ構成

	実質組入比率	基本70ヶーション	差
国内株式	24.9%	25.0%	-0.1%
国内債券	9.8%	10.0%	-0.2%
外国株式	25.4%	25.0%	0.4%
外国債券	39.2%	40.0%	-0.8%
現金等	0.7%	0.0%	0.7%
合計	100.0%	100.0%	—

※各資産の組入比率は、先物を含んだ実質組入比率。
※株式には新株予約権証券を含む場合があります。

- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド50 DI

【特別勘定が投資する投資信託】

DIAMグローバル・バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に、国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

国内債券、国内株式、外国債券、外国株式への分散投資を行い、リスクの低減に努めつつ中長期的に安定した収益の積み上げを目指します。基本資産割合(基本アロケーション)のもと、個別資産毎で各指数に連動するインデックス運用を行います。

<各資産毎のポートフォリオ状況>

(注)各比率は、各マザーファンドにおける資産毎の時価総額に対する比率です。従って、DIAMグローバル・バランスファンド50VAにおける組入比率とは異なります。

国内株式

組入上位5業種(東証33業種分類)

(単位:%)

No.	業種	組入比率	ベンチマーク	差
1	電気機器	17.40	17.39	0.01
2	輸送用機器	9.50	9.49	0.00
3	卸売業	7.41	7.41	0.00
4	銀行業	7.41	7.40	0.00
5	情報・通信業	7.26	7.25	0.00

※株式には新株予約権証券を含む場合があります(以下同じ)。

組入上位5銘柄

No.	銘柄	業種	組入比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	5.32
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.39
3	ソニーグループ	電気機器	2.35
4	東京エレクトロン	電気機器	2.14
5	三菱商事	卸売業	1.81

(組入銘柄:2140銘柄)

*ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)です。

外国株式

組入上位10カ国

No.	発行国	組入比率
1	米国	72.97%
2	英国	3.70%
3	カナダ	3.33%
4	フランス	3.08%
5	スイス	2.95%
6	ドイツ	2.40%
7	オランダ	2.03%
8	オーストラリア	1.96%
9	アイルランド	1.88%
10	デンマーク	1.01%

※株式には新株予約権証券を含む場合があります(以下同じ)。

組入上位5業種

No.	業種	組入比率
1	ソフトウェア・サービス	10.19%
2	半導体・半導体製造装置	8.40%
3	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.99%
4	資本財	7.14%
5	金融サービス	6.82%

組入上位5銘柄

No.	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	4.87
2	APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	4.13
3	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.66
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	大規模小売り	2.75
5	META PLATFORMS INC	アメリカ	インタラクティブ・メディアおよびサービス	1.77

(組入銘柄:1248銘柄)

国内債券

組入全セクター

	組入比率	ベンチマーク	差
国債	85.03%	84.71%	0.31%
地方債	5.33%	6.00%	-0.68%
金融債	0.30%	0.31%	-0.01%
政保債	1.05%	1.28%	-0.22%
社債	7.11%	6.08%	1.03%
円建外債	0.07%	0.29%	-0.22%
MBS	1.10%	1.26%	-0.15%
ABS	0.00%	0.06%	-0.06%
合計	100.00%	100.00%	-

※国債には、債券先物(10年物)が含まれる場合があります。

ポートフォリオの状況

	マザーファンド*	ベンチマーク	差
平均複利利回り	0.70%	0.72%	-0.01%
平均クーポン	0.68%	0.78%	-0.10%
平均残存期間	9.90	10.21	-0.31
修正デュレーション	9.06	8.88	0.17
(先物等ヘッジ込み)	9.06	8.88	0.17

※国内債券マザーファンド(国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド)の現金等を含みます。

(組入銘柄:658銘柄)

*ベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。

外国債券

組入上位10カ国

No.	発行国	マザーファンド*	ベンチマーク	差
1	米国	47.32%	46.94%	0.39%
2	中国	8.61%	9.14%	-0.53%
3	フランス	7.98%	7.97%	0.01%
4	イタリア	7.28%	7.22%	0.06%
5	ドイツ	6.30%	6.26%	0.04%
6	英国	5.19%	5.17%	0.03%
7	スペイン	4.86%	4.86%	-0.01%
8	カナダ	2.06%	2.05%	0.01%
9	ベルギー	1.77%	1.76%	0.01%
10	オランダ	1.49%	1.48%	0.00%

ポートフォリオの状況

	マザーファンド*	ベンチマーク	差
平均複利利回り	3.68%	3.75%	-0.06%
平均クーポン	2.37%	2.48%	-0.11%
平均残存期間	8.30	9.12	-0.82
修正デュレーション	6.52	6.62	-0.10

※外国債券マザーファンド(外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド)の現金等を含みます。

(組入銘柄:877銘柄)

*ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本・ヘッジなし・円ベース)です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド50 DI

【特別勘定が投資する投資信託】

DIAMグローバル・バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に、国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

国内債券、国内株式、外国債券、外国株式への分散投資を行い、リスクの低減に努めつつ中長期的に安定した収益の積み上げを目指します。基本資産割合(基本アロケーション)のもと、個別資産毎で各指数に連動するインデックス運用を行います。

今月のコメント

【国内株式】

国内株式市場は上昇しました。月前半には日銀による金融政策の正常化観測が高まり円高が進んだこと等から下落する場面が見られましたが、その後は日銀がマイナス金利解除などを決定したものの緩和的な金融環境が続くとの見方から為替市場が円安に振れたことやデフレ脱却期待等から上昇しました。

【国内債券】

国内債券市場では、10年国債利回りは概ね横ばいとなりました。月前半は日銀による金融政策の正常化観測などから上昇しました。その後、日銀がマイナス金利解除などを決めたものの、国債買い入れを継続する方針を示したこと等から上昇幅を縮小する動きとなりました。

【外国株式】

外国株式市場は米欧とも上昇しました。米国においてFOMC(米連邦公開市場委員会)で年内3回の利下げ見通しが維持されたことや堅調な経済指標の発表を受けて米経済のソフトランディング(軟着陸)期待が高まったこと、欧州でも利下げ期待が高まったこと等から、米欧とも堅調に推移しました。

【外国債券】

外国債券市場では、10年国債利回りは米欧とも低下しました。10年国債利回りは、米国の物価指標が上振れたことや米経済のソフトランディング期待が上昇要因となったものの、FOMCで年内3回の利下げ見通しが維持された安心感や欧州の利下げ観測の高まり等の低下要因が優勢となり、前月末比では低下しました。

【為替】

ドル/円相場は、日銀による金融政策の正常化観測などが円高ドル安材料となった一方、日銀による緩和的な金融政策の継続が意識されたことや米経済のソフトランディング期待等が円安ドル高材料となり、方向感に欠ける動きとなりました。またドルがユーロに対して概ね横ばいとなるなか、ユーロ/円も前月末比で横ばいの動きとなりました。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。